

セ タガヤ ボ ン テ ィ ア ネ ツ ワ ー ク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発！ ボランティア生活発見マガジン
<http://www.otagaisama.or.jp/>

2017.8 No.160

今月のトピック

特集●

違いを認め合う 世の中に

まちの市民力！ ● たまごの家

キラリ世田谷人 ● 種田 美穂さん



イラストレーション●金子 哲大
NPO法人プレーパークせたがや
世田谷プレーパークのプレーワーカー。

●わたしの世田谷

道のわきに、切り株に、ベンチの上に、
葉っぱの上に、石がのっている。
ものが並んでいる。

料理なのか？ ゲームなのか？
宝物なのか？

違いを認め合う 世の中に

昨夏、神奈川県障害者施設で起こった殺傷事件についての学習会が今年4月に開催されました。あれから1年、奪われたひとりひとりの「いのち」から私たちは何を受けとめたのか。学習会のレポートとともに、学習会当日の参加者でもあった実方裕二さんに、障害当事者としての想いを聞かせていただきました。



障害者の権利を守る
シンボルマーク
「イエローリボン」

一人ひとりの「いのち」

昨年7月に発生した障害者殺傷事件についての学習会『19人それぞれのいのちが私たちに語りかけるもの』が、4月22日に三軒茶屋で開催されました。奪われた一人ひとりのいのちから私たちは何を受け止めてくれないのか。さま

ざまな立場の方に語っていただくことからみんなで考えようというものでした。

登壇者は「やまゆり園」の元職員^{かどみち}の西角純志さん、自立生活センター^{てふひさ}「HANDS世田谷」の横山晃久さん、『相模原事件とヘイトクライム』を著した世田谷区長の保坂展人さんの3人。犠牲者を「19人」とひとくくりにするのはなく、19人の一人ひとりの「いのち」が奪われた、という視点でこの事件を考えるものでした。報道では加害者のことばかりが語られ、無念にも奪われた被害者の生身の「生」が見えてきません。職員で、被害者のうち7人を担当したことがあり、現在は専修大学の講師をしている西角さんは、19

人の「生きた証し」を残そうと、関係者を訪ね歩く旅を続けています。

まずは西角さんから14人の方たちの「人生」の報告がありました。「北島三郎さんが好きだった男性は、見に行つた時に買った湯呑みを職員にプレゼントし、それが形見となつてしまった」「ある男性はラジオが大好きでいつも携帯していた」など、それぞれの人生があり、支えあう家族がいたことが語られました。そのことを知ると、容疑者が語った「意志の疎通ができない人たち」という言葉が嘘であることがわかります。殺されてもいい人生などないのです。

次の世代にどう伝えるか

西角さんの報告のあとは、パネリストが思いを語りました。障害者が主体的に生きられる社会を目指して活動している「HANDS

世田谷」の横山さんは、脳性まひ者の自立支援を先駆的に進めてきた団体「青い芝の会」の地元の神奈川で事件が起こったことがショックだったといえます。「障害者は頑張っても健全者にはなりえません。ああいうふうになりたい、とか健全者と比べてしまうけど、僕は僕なりに伝えたい。エレベーターの中で僕をみて、子どもが「キモい」といいました。正直です。親はその時に何と申うか、『そんなこと言っちゃだめ』と言うのではなく、大人のフォローが大事です」と語りました。



写真左から、横山さん、西角さん、保坂さん

著書により、事件の根っこがあるのかを世に問いかけた保坂さんは、本を書いた理由について、『戦後最悪の事件です』とのコメントターの言葉に説得力があるのだろうか。動機や気持ちはわかる、という肯定的な評価がネットなどで広がりました。一方、容疑者を「特異な存在」と、例外的な事柄として扱えば、世間は「自分とは関係ない」とホッとします。「許されることではない」といつつ、オリンピック関連の報道が始まってからは何も語られなくなっていました。正面から向き合うことを避け、なぜこの犯罪が許されないのかということが伝わってきません。こういう事件を繰り返さないために、被害者一人ひとりの横顔を知りながら、根底から事件を否定する言葉を探していきたい」と語り、困難であつても次の世代に語っていかないと、風化がますます進行することになると警告しました。

地域に障害者がいて当たり前
の文化を

「施設が民営化されてから、それまで築き上げてきた地域との関係が希薄になった」（西角さん）、「長期にわたって、大勢の人が施設で生活しているのが現実」「不当に低く押さえつけられている人たちが、自分よりも低く見られている人たちを差別していく、というのがヘイトクライムの原点（保坂さん）」「施設の中では人間関係が一方的で閉鎖的になりがち。社会との接点がないところで起きた事件です」（横山さん） そのような社会では、どこでも起こりうる事件ともいえるでしょう。

会場からも多くの意見が寄せられました。「障害のある人がたくさん街の中にいれば、子どもが『キモい』とは思わなくなるのではないか」「いかに日常的に障害者と交流できる場を持つか、それが事件を二度と繰り返さないことに繋

がる」（横山さん）、「特異なことではなく、日常と決してかけ離れていないことがこの学習会で述べられたと思う。事件を『忘れない』という気持ちを共有できたのではないだろうか」（保坂さん）

亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると同時に、地域で引き続き、考え合う機会を持ち、子どもたちとともに希望をつくっていかなくては、という思いを新たにしました。

つきあいを重ねて知っていく

前出の学習会にも参加し、事件後、個人的に何度も想いを文章にしたため、発信してきた実方裕二さん（以下ゆうじさん）。先天性の脳性まひで、手足と言語に障害があります。あらためてお話をうかがいました。

あの事件後、「障害者は生きるに値しない、生きる価値がない」

という犯人の発言が連日報道され、ゆうじさんはマスコミの報道の仕方に危機感を覚えました。特に子どもなど、障害のある人のことをよく知らない人からすれば、報道で見聞きしていることを鵜呑みにしてしまい、障がい者に対して「世の中の邪魔者だ」という間違ったイメージを持つてしまうのではないかと思ったからです。事件後、「表を歩くのがこわかった」と振り返るゆうじさん。「気のもちようかもしれないけど、誰かににらまれているような、『邪魔だ』と言われるんじゃないかとびくびくしていた」

言語障害を知らない子どもにしたら「なんでそんなしやべり方なの？」というのが率直な疑問。でも、それは健常者の中だけで生きているからそういう見方になるのであって、最初は何を話しているのかわからなくても、わかるまで何度も聞く。今までゆうじさんが出会った子どもたちは、何度も会



電動車いすで区内を駆け回り、「ゆうじ屋」特製ケーキを移動販売。

話をしていううちに「わかった!」と通じる瞬間がありました。「そうやってつきあいを積み重ねて『知っていく』ことが、必要だと思います」と語気を強めました。

知り合うのは、おたがいさま

ゆうじさんは「障害者のことを正しく理解してほしい、知ってほしいのはもちろんだけど、まずは自分が相手のことをわかってほしいわなければ、相手だって俺とつきあいたいと思わないよね」という想いから、『生活お見合い』というイベントを開催しています。

二方的に、自分たちのことをわ

かつてくれというのは無理な話。自分ももつといういろいろな人の生活を知っていかなければ、と気づいた」といいます。

「前は『もつとショウガイシヤのことをわかつてほしい』とよく言っていたし、自分はこんなに大変なのに、わかつてくれないみんなが悪いんだって思う部分も正直あった。でもそんなこと言っている、何も変わらない。自分から変わっていくべきじゃないかと思ったんだ」「相手のいいところもダメなところもひっくるめて知って、自分にも同じようなところ



思いを歌にして、ステージでシャウトすることも。

ろあるよなとか、自分と照らし合わせてみる必要がある」で、だから『生活お見合い』なのです。

この2年間、高校の授業の一環で、高校生と一緒に演劇をつくるプログラムにも協力しました。最初は戸惑っている様子でしたが、徐々に親しくなつて、高校生たちが変わっていくのがわかりました。「言葉だけでなく、いっしょに劇をつくることでやっぱり何かが伝わるんだらうと思う」これまでの様々な経験から、人と人とのつきあつていけば仲良くなれると、ゆうじさんは実感しています。

違いがあつて当たり前

先日、ゆうじさんは講座で、不登校経験のある講師の話聞き、あらためて子どものいじめの問題を知りました。「子どもの問題も、違いを認め合わない社会で起きていて、違うからおかしいとか、同じだからいいみたいところから

始まっているのだと思つた。だから障害者だけでなく、いろんな人がいて、いろんな違いがあつてもいいんだつていうことがもつと当たり前になれば、いろんな人たちの生きにくさが少しは楽になるんだらうと思う。大変なのは自分だけじゃないんだと知り、じゃあどうすればいいのか、それぞれが考えて、答えを出していくような場をつくっていきたい」と語ります。

身体障害に限らず、発達障害など、いろいろな「生きづらさ」を抱えた当事者の話を聞ける場をつくって理解を深めようと、思いをともにする人たちといっしょに、9月から新企画「マイノリティ先生」を計画しています。昨年「障害者差別解消法」が施行されましたが、法律とともに、そうした地道な積み重ねがさまざまな問題を理解することにつながっていくのではないのでしょうか。

(取材／編集委員 星野弥生、事務局 宮崎紘子)



世代間交流の場を開く

たまごの家

他人の孫も、自分の孫も、地域の孫

まちの

市民力!!

取材・家井雪子

街の中で地域やそこで暮らす人たちと一緒に活動している団体を紹介します



自分の孫も他人の孫も、みんな地域の孫・・・そう、「たまごの家」は「他孫の家」、高齢者と子どもとのふれあいの場です。毎週土曜10時、若林のひだまり友遊会館に集まってくるのは地域の高齢者や子連れのママ。スタッフやボランティアを含めると30人を超すこともあります。まずはみんなですトレッチ。歌や早口言葉で声を出し、貼り絵やゲームなどを楽しむ間に、キッチンでは昼食づくりが進みます。おしゃべりしながらご飯を食べて、13時には解散です。お話をうかがったのは代表の加藤美枝さんと、リーダーの阿部成子さん、佐藤明子さん。「たま

ごの家は、『ひこばえ広場』という高齢者の地域活動の一環として、昨年6月に始めました」と加藤さん。区の生涯大学の卒業生を中心に、保育園との交流などを続けていた「ひこばえ広場」に、区から介護予防事業への参加が呼びかけられたのです。平均年齢70才を超すメンバーたちは迷い、議論を重ねましたが、「元氣な高齢者が潜在力を出さないと」と決断。高齢者のこれまでの経験が子育て家庭とのふれあいで役に立ち、多世代が楽しめる活動をめざして、住民主体型地域デイ「たまごの家」を立ち上げました。研修を受けたリーダー14名が4

班に分かれて月1〜2回ずつ担当しています。利用者はあんしんすこやかセンターから紹介される方が主ですが、知り合いに声をかけたり、会館に居合わせた親子が顔を出したり。「得意なことを得意な人が」をモットーに、緩やかなプログラムが生まれ、草笛を披露して「たまごちゃん」に喜ばれている方も。「絵本を読みながら戦争体験を話したり、魚の盛り付け方を実習の学生に伝えたりと、高齢者だからこそできる文化の継承も心掛けています」と加藤さん。6月の1周年写真展では、障害を持ったたまごちゃんたちを招いてのピザづくりや、栄養士会の方の調理サポートなどが紹介され、人の繋がりが会の活動を豊かにしていることがうかがえました。「課題はたくさんあつて、体力も知力もギリギリだけど、それでも楽しむ心でやっている」というメンバーたち。まだまだ新しい試みが生まれてきそうで楽しみです。

■たまごの家 毎週土曜日 10時〜13時 ひだまり友遊会館

昼食代として参加費500円。(学生半額、幼児無料)

☎ 03-3427-7609 yosikato03@yahoo.co.jp



ナツボラ7年目！

種田 美穂 さん
たねだ みほ

や
が
世
た
人
キラリ

世田谷を中心に活躍する
キラリと光る素敵な方がたを
ご紹介しします
取材●事務局

けど、教材をつくるお手伝い、掃除や洗濯をしたり、子どもと遊ぶ以外のこともたくさんやるのだと知りました」と振り返り

今年も「ナツボラ」の季節がやっ

てきました。たくさん参加者のなかでも、最多7回目（！）の参加が種田さん。保育士をめざして、児童教育を学ぶ大学1年生です。

ナツボラに初めて参加したのは6年前、中学1年生のとき。保育士の母の勧めで参加したのがきっかけでした。「初めての体験はとも緊張したけど、子どもたちのほうから話しかけてくれて、子どもから元気をもらった」といいます。3日間を終える頃には楽しくなり、それから毎年参加することになりました。「最初は、保育園って子どもと遊ぶだけなのかなと思っていた

ます。

種田さんは中1から高3の夏まで、毎年同じ保育園でボランティアを続けていたので、行きたびに子どもの成長を感じ、1才だった子が年長になることに「もう小学生か」と親心のような気持ちを感じたと笑います。漠然と子どもが好きで始めたボランティアでしたが、徐々に将来の進路を考えるようになり、高校2年生の頃には「保育士になりたい」と目標が明確になりました。

高校ではボランティアサークルに所属し、選択授業で高齢者や障がいのある人の施設にも行きまし

た。「ボランティアでいろんな人に出会って、世の中にはいろいろな人がいることを知ることができました」こうした経験から、初対面の人とも物怖じせずに話せるようになったといいます。

大学で保育の基礎を学んだ今、「早く現場で、学んだことを実践してみたい」と8月のナツボラを前にうずうずしています。「いろんな園をみてみたい」と、今年は初めて今までと違う保育園での体験を選びました。

「ボランティアは自分もエネルギーをもらえて、元気になるものです」自分が笑顔だと相手も笑顔になるし、人がうれしそうにしていると自分もうれしくなる。その連鎖が楽しくて続いています。「最初の一步がもつと広まればいいなと思います。やってみたら楽しいんですからね。私は来年もまたやります！」と早くも頼もしい宣言が飛び出しました。

※「ナツボラ」…主に学生を対象とした、夏のボランティア体験プログラム。保育園のほか、今年は85団体の活動先から選べる。

*沿線別にイベントやボランティア
情報を入れていきます。
詳細は P10 ～ 15 をご覧ください。

地域・ボランティアで活動する女性のための
わかちあいのコミュニケーション・ワーク
9/16、30、10/7 (土) 10時半～15時半
代田ボランティアビューロー P14

●小田急線沿線

- ☆福祉施設の喫茶のお手伝い募集 詳細 P10
- ☆タごはん会の調理・買い物担い手募集 詳細 P10
- ☆自宅の清掃をしてくださる方募集 詳細 P10
- ☆視覚障害のある方の調理サポート募集 詳細 P11
- ☆音訳ボランティア募集 詳細 P11
- ☆小1男子の学童からの帰宅付き添い募集 詳細 P12
- ☆日曜スール アルバイト募集 (有償) 詳細 P12
- ☆宿泊行事のサポーター募集 (有償) 詳細 P13
- ☆ボランティア拠点の臨時職員募集 詳細 P13

アマッチング
ー養成講座
時半～16時半
アセンター P15

JRA 馬事公園
第9回 せたがや福祉区民学会
10/1 (日) 12時～17時半
昭和女子大学
世田谷区福祉人材育成・研修センター P14

第3回せたがやヒューマンライブラリー
8/27(日)12時半～
世田谷ボランティアセンター
東京ヒューマンライブラリー協会 P15

ぼう会とグルンパの夏まつり
8/26 (土) 11時～14時
玉川ボランティアビューロー P14

NPO・市民活動相談
事前にお電話でお問合せください。
世田谷ボランティアセンター P15

ナマバラ～発達障がいのある人とぶっちゃけ話～
「学習支援 受けた？ 受けない？」
8/27 (日) 18時～20時
世田谷ボランティアセンター
ナマバラ実行委員会 P14

夏の夜市「エテ・マルシェ」
8/26 (土) 15時半～20時
ケアセンターふらっと P15

おたが
さMAP

OTAGAISA MAP

おたがいさマップ ● 情報トピック

● 京王線沿線

☆ 化学物質過敏症に悩む方の生活サポート募集 詳細 P11

☆ 4才の女の子のリハビリボランティア募集 詳細 P12

● 世田谷線沿線

☆ 高齢者施設で習字を教えて下さる方募集 詳細 P11

ピースアクション世田谷 2017

8/8~9 11時~16時 世田谷区役所

8/9 18時~ 世田谷公園

ピースアクション世田谷 2017 実行委員会 P15

災害ボランティア コーディネーター

9/16 (土) 13時

国士舘大学

せたがや災害ボランティア

● 東急線沿線

☆ 小3女子の送迎ボランティア募集 詳細 P11

☆ トイレ介助ボランティア募集 詳細 P12

☆ コミュニティカフェの調理スタッフ募集 (有償) 詳細 P13

☆ 人形劇グルーメンバー募集 詳細 P13

- 京 京王線沿線
- 小 小田急線沿線
- 世 世田谷線沿線
- 東 東急線沿線

この地図には沿線ごとのトピックをいれています。

他にも世田谷にはたくさんの素敵な出会いがいっぱいです。後に続く情報をマップにおとしたり、今月のあなたの『おたがいさま』を書き入れてみてはいかがでしょうか。

★や◎で入れるのもよし、活動の記録・行動(アクション)の目安に是非ご活用ください。

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線

ご相談ください

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障がいや学習障がいの傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小・中学生の個別の学習支援に取り組み、ボランティアの紹介を行っています。

勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっていきます。必要な方がいらしたら、お気軽にご相談ください。

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木・青木
TEL 5712・5101
suzuk@otagaisama.or.jp

ボランティア求む

小 福祉施設の喫茶でのフロア・キッチンのお手伝い

様々な理由により一般就労が難しい方が、自分のペースで無理なく、接客・調理のトレーニングや経験を重ねています。リニユーアルしたばかりの居心地のよいお店と一緒にお手伝いをしてくれる方を募集しております。なお、軽作業部門もありますので、ご興味のある方はお気軽にお問合せください。

●日時/11時〜18時の間でご相談（水曜定休）
●場所/カフェメロディ
●交通/祖師ヶ谷大蔵駅徒歩3分
●条件/19歳以上（交通費支給）
●問合せ/医療法人社団風鳴会
カフェメロディ
担当 磯部・瀬戸山
TEL 6751・0405

小 「代田タこはん会」調理・買い物担ってくれる方募集

代田ボランティアビュローでは月に一度、ご近所の老若男女が集まって「みんなで作ってみんなで食べる」タこはん会を行っています。「ひとりりで食べるよりおいしく感じる」「ご近所に気軽に挨拶できる知り合いが増えた」と好評です。

タこはん会で、中心となって準備を担ってくれるメンバーを募集中。調理以外にも、お買い物や献立決め、片づけなど、得意なことでの参加をお願いいたします。まずは一度、ごはんを食べにいらしてみませんか？

●日時/毎月第3水曜日 16時半〜準備、18時頃「いただきます」、片づけ後、20時までは解散
●場所/代田ボランティアビュロー 1階
●交通/世田谷代田駅南口すぐ
●募集人数/数名（タこはん会の定員は12名）
●参加費/1回500円（食材費、保険料）
●問合せ/代田ボランティアビュロー
TEL 3419・4545
databor@otagaisama.or.jp

小 自宅の清掃をしてくださる方募集

代田にお住まいの目の不自由な女性が、週に2回くらい自宅の清掃をしてくれるボランティアを探しています。なるべく近隣にお住まいの穏やかな女性の方を求めています。詳しくはお問合せください。

●日時/火曜日午後と、第1・3金曜日の午前午後、各1時間くらい（曜日は相談可）
●場所/自宅（代田2丁目）

●交通/世田谷代田駅徒歩3分
●募集人数/1〜2名
●条件/近隣にお住まいの穏やかな女性の方。1時間1000円（緊急介護人制度に登録お願いします）
●問合せ/代田ボランティアビュロー
TEL 3419・4545
databor@otagaisama.or.jp

京 化学物質過敏症に悩む方の生活のサポート募集

多発性硬化症などの病気を患いヘルパーさんのサポートを得ながら生活をしてきた40代の女性が、7年ほど前から、薬品や洗剤などに含まれる化学物質にさらされると息苦しくなるなど体調に変化が出てしまう化学物質過敏症になられ、それに対応できるヘルパーさんが見つからなくなってしまう生活に困っています。

食事や洗濯、室内やお風呂の掃除などの生活のサポート、洗髪など身体的なサポートをしてくださる方を探しています。少しでも構いませんので、ご協力いただける方はご連絡頂けると助かります。

小 視覚障害のある方の調理サポート募集

「みんなの料理」は、視覚障害のある女性たちによる料理講習グループです。この活動を手伝ってくださるボランティアを求めています。すでに3名かかわってくださっていますが、もう1名募集しています。料理が好きな方なら、視覚障害の知識がなくても大丈夫です。

●日時/毎月1回、第4月曜日

●日時/ご都合の良い時間で

●場所/烏山地域の自宅

●条件/女性。ご自身及び同居の家族が喫煙者でない方。衣類の洗濯の際に合成洗剤、柔軟剤を使っていない方。ご自宅室内で、芳香剤や消臭剤を使われていない方。お会いする前日の洗髪で香料のないシャンプーを使い、当日に整髪料を使われない方。

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木

TEL 5712・5101
suzuk@otagaisama.or.jp

13時〜16時

●場所/砧総合支所区民集会所

●交通/成城学園前駅徒歩5分

●募集人数/1名

●条件/料理に興味のある女性。食事代として1回5000円が必要。

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 宮崎

TEL 5712・5101

東 小3女子の特別支援学級への送迎ボランティア募集

小学3年生の女子が小学校へ通う際の送迎をして下さる方を求めています。現在は祖母が送迎していますが、だんだん大変になってきました。おとなしい、歌が好きなお女の子です。週1回でもお手伝いしていただけると助かります。

●日時/曜日は応相談。朝は7時45分〜8時半頃、帰りは17時〜

小 音訳ボランティア募集

世田谷録音奉仕グループひびきは、梅丘で39年間、視覚障害者のための録音図書を作り続けています。デジタル録音、デジタイズ編集など一緒に活動して下さる方を募集しています。興味・関心のある方は、ぜひお問合せください。

●日時/例会は毎月第1、第3火

世 高齢者施設で習字を教える方募集

高齢者施設で、月に1回程度、お習字（墨絵などでも）を教えるてくださるボランティアさんを探しております。お習字が大好きなご利用者がたくさんおられます！ご連絡をお待ちしております。

●日時/月曜〜土曜のご都合の良い曜日で、1回2時間程度（午前でも午後でも）

●行程/自宅（深沢5丁目）からバス乗り継ぎ徒歩5分↓校町小学校、帰りは学校↓自宅

●条件/お近くにお住まいの方、男女不問

●問合せ/玉川ボランティアビューロー

TEL 3707・3528

曜日の午前中（作業によっては午後もあり）

●場所/梅丘ボランティアビューロー（録音、編集作業は自宅）

●年会費/10000円

●問合せ/梅丘ボランティアビューロー

TEL 3420・2520

●場所/ライフタイム上馬デイスーパーセンター（上馬5丁目）

●交通/世田谷線若林駅

●条件/お習字をやっておられた方

●問合せ/ライフタイム上馬デイスーパーセンター

TEL 5787・2237

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。9月号掲載は8月10日（木）に締め切りです。

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線

小

小1男子の学童からの帰宅付き添い募集

砦に住んでいる小学校1年生の男の子がBOP(学童)から家に帰るときの付き添いをしてくれる方を探しています。普段は親御さんがつきそっていますが、できないときに、小学校まで迎えに行つて一緒に自宅に帰ります。すでにボランティアがひとり決まっています、無理せず2人でサポートする予定です。人なつこい明るい男の子です。子どもが好きな

京 4才の女の子のリハビリボランティア募集

脳に障害のある4歳の女の子が、ドーマン法というリハビリプログラムを実施しています。ドーマン法は脳の障害を治すためのプログラムでアメリカにドーマン研究所があります。手や足を動かすバタニングというリハビリがあり、大人3人の協力が必要になります。毎日数時間行つたため、たくさんの方の協力が必要です。セボネ等と呼ばれて、現在10名の方が交代で協力してくださっています。週一回1時間でも、月に一回でも、ご協力いただける方はご連絡

方、ご連絡をお待ちしています。

●日時/月に1〜2回程度(おむね2週間前にわかります) 18時に学校にお迎え。自宅まで徒歩約20分。

●場所/世田谷区立明正小学校 ●条件/女性。交通費支給(上限あり)

●問合せ/玉川ボランティアビューロー
TEL 3707・3528

絡ください。ドーマン法の経験がある方、大歓迎です。また、経験のあるご家族にお話を聞きたいというので、ぜひご連絡をお願いします。

●日時/要相談

●場所/世田谷区粕谷1丁目 ●交通/千歳烏山駅徒歩10分

●条件/子ども好きな女性、非喫煙者、交通費支給(上限あり)

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 植田

TEL 5712・5101
ueda@otagaisana.or.jp

東

トイレ介助ボランティア募集

二子玉川のオフィスビルに勤務する車イスの20代男性が、昼休みのトイレ介助(パッド交換)のボランティアを探しています。現在、複数名でサポートしていますが、火曜を担当していただける方を求めています。介助経験のある方もない方も、まずはお問い合わせください。

●日時/火曜 12時40分〜13時

有償スタッフ募集

小 日曜プール アルバイト募集

『スペースえるぶ』は18歳以上の障がいのある人・ない人が「共に」参加し、対等な仲間関係づくりを目指して活動しています。

成人の余暇活動としてのプールを一緒に楽しく盛上げてくれる方を募集しています。泳法指導メインではなく、個別自由時間(泳ぐ人、潜ったり浮かんだり水の感覚に浸る人、おしゃべりメインの人)や全体プログラム(ダンスやゲーム等)を盛り上げてくださ

い!

(頻度は応相談)

●場所/二子玉川駅徒歩2分のオフィスビル1階 ●募集人数/1〜2人 ●条件/年齢・性別・資格不問。交通費応相談

●問合せ/玉川ボランティアビューロー

TEL 3707・3528
tanabara@otagaisana.or.jp

●日時/月2回(第2・第4日曜) 9時15分〜12時15分(プールの活動は1時間程度)

●場所/粕江あいとびあセンター 4階 室内温水プール ●交通/粕江駅徒歩10分

●募集人数/2名(男女1名ずつ) ●条件/時給1000円、交通費

●問合せ/スペースえるぶ 担当 堀内

TEL 3480・2808
e-r-bu@mdpoint.ne.jp



ボランティア拠点での臨時職員募集

世田谷ボランティア協会が運営する、地域のボランティア拠点で有給スタッフを募集しています。もともと暮らしやすい、もともとわくわくするまちにするために、あなたの力を生かしてみませんか？

●内容／ボランティア活動の推進にかかわる相談業務、諸事業の企画・立案・実施、一般事務、施設の管理、バザーの企画・運営ほか

●勤務地／代田ボランティアビューロー（代田2・20・6）

●交通／世田谷代田駅徒歩1分

●勤務日／月曜～土曜日のうち、週3日程度（ただし、月1～2回土曜日の交代勤務あり）

●勤務時間／9時55分～17時10分

●条件／20歳以上で人とかかわることが好き、地域のために何か

東 コミュニティカフェの調理を担ってくださる方募集

お年寄りからママ・子どもたち、みんなが美味しい物を食べて遊んでほっこり出来る場所をつくりまします。お料理でみんなを笑顔にしませんか。

●日時／勤務日・勤務時間応相談

始めてみたい方

●雇用期間／9月以降～2018年3月末日（勤務開始日応相談）

●年度ごとの契約、更新あり

●待遇／時給935円（交通実費支給、雇用保険あり）

●応募方法／履歴書（写真貼付）、作文「応募の動機」（4000字程度）を郵送または持参

●選考方法／1次選考：書類、2次選考：面接

●応募締切／適任者が見つかり次第締切

●問合せ／世田谷ボランティア協会

TEL 544・0002

世田谷区下馬2・20・14

TEL 5712・5101（月曜・祝日休館）

●場所／田園都市線沿線

●条件／スイーツが得意な方、歓迎

●問合せ／ハートネットカフェ

担当 平塚

060・9138・0067

daybreak1900023@yahoo.co.jp



9月宿泊行事のボランティア募集

障害者の通所施設の宿泊行事で、国立オリンピック記念青少年総合センターに一泊します。車椅子の移動介助やレクリエーションなど、利用者と楽しい時間を過ごして下さる方を大募集しています。

●ボランティアが未経験の方も大歓迎です。素敵な思い出と一緒に作りましょう！ 気軽にお問い合わせください。お待ちしております！

●条件／謝礼あり

●問合せ／世田谷区立三宿つくしんぼホーム

TEL 3411・4711

tukushi@akeocn.ne.jp

講座・その他・募集

東 人形劇グループ「ビビデバビデ」メンバー募集

NHKなどで長年人形劇に関わられてきた星野さんが「人形劇は観るのも面白いけど、演じるのも楽しいのよ」とボランティアセンターに相談に来られました。そこで、人形劇のグループをつくって、人形作りをしたり、稽古をしながら子どもたちに観てもらえる活動をしていきたいと思います。

身近にあるもので人形にする工夫、子どもを別世界に引きこむ演出の工夫、わくわくさせる動きの

工夫を考え、人形劇の楽しさを味わいながら、いっしょに活動しませんか？

●日時／毎週土曜日 10時～12時

●場所／世田谷ボランティアセンター

●会費／月500円（入会時別途1000円）材料代に充てます

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木

suzuki@otagaissama.or.jp

TEL 5712・5101

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線

講座・その他・募集

小 地域・ボランティアで活動する女性のための
わちあいのコミュニケーション・ワーク

「言いたいことが言えない…」

「これでいいのかな?」「もっと、みんなが気持ちよく活動できたら…」地域・ボランティア活動を始めると、いろいろな人とのコミュニケーションの機会がぐんと増え、時には疑問やもどかしさを感じることありませんか?

さまざまなワークを体験しながら、コミュニケーションのヒントを一緒に学びましょう。

●内容/自己紹介ワーク、アサーション・ワーク、ポスターセッション、演劇的ワークなど。

●3日連続講座です。詳細はお問い合わせください。

●日時/10月1日(日)12時~17時半

●場所/昭和女子大学

●交通/三軒茶屋駅徒歩7分

●参加費/500円(資料代込)

●問合せ/世田谷区福祉人材育成・研修センター

TEL 5429・3100

https://www.setagaya-jinzai.jp/

東 第9回 セたがや福祉区民学会

●日時/9月16日、30日、10月7日 土曜日 10時半~15時半(7日のみ14時まで)

●場所/代田ボランティアアビュロー 2階

●参加費/5000円(3日分)

●最終日ランチ交流の材料費として、別途3000円程度予定。

●条件・定員/女性12名(3回連続で参加できる方を優先に、申込先着順)

●申込み・問合せ/代田ボランティアアビュロー

TEL 3419・4545

datafora@otagaisama.or.jp

東

ナマバラ/発達障がいのある人とぶっちゃけ話
『学習支援(療養)受けた?受けない?』

いろいろな人の生(ナマ)の体験談がきけるトークバラエティー企画。話の中に、生きやすさのヒントがかくれているかも・・・!?

今回のおはなしは、『学習支援(療養)受けた?受けない?』

ケアセンターふらつとの川邊さんが、発達障害のあるお子さんの学習支援について現場での経験に基づいて、わかりやすくお話しします。お子さんの学びを脳機能から考え、子どもの行動を支援する具体的な方法を一緒に考えましょう

●日時/8月27日(日)18時~20時

●場所/世田谷ボランティアセンター 2階会議室

●交通/三軒茶屋駅徒歩12分

●参加費/200円(茶菓子代)

●企画運営/ナマバラ実行委員会

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木

TEL 5712・5101

suzuki@otagaisama.or.jp

東 遊ぶう会とグルンパの夏まつり

障がいがあってもなくても一緒に楽しく過ごす、毎年恒例の夏まつりです。焼きそば、かき氷、サンドイッチなど、「ナツボラ・ジュニア」の小学生ががんばって店長をやります。みんなでゲームもやるよ! お友だちをさそって、ぜひ来てください。大学生のお兄さん、お姉さんも待っています!

●日時/8月26日(土)11時~14時

●場所/玉川ボランティアアビュロー

●参加費/こども1000円、おとな300円

●申込み/電話・FAX・メール

●申込締切/8月18日

●問合せ/玉川ボランティアアビュロー

TEL 3707・3528

FAX 3708・3058

tamador@otagaisama.or.jp

世小

災害ボランティア マッチングコーディネーター 養成講座

災害時に被災者と災害ボランティアのニーズをつなぎ、より良く支援活動が行われるように調整するスタッフを「災害ボランティアマッチングコーディネーター」といいます。その養成講座を開催いたします。大勢の方の受講をお待ちしております。

講座受講後、「マッチングコーディネーター」への登録もお願いします。（希望者のみ）

●日時／9月16日（土）13時半～16時半

●会場／国士舘大学

●交通／梅ヶ丘駅徒歩9分

●参加費／無料（要申込）

東 NPO・市民活動相談 ご活用ください

ボランティアグループ・任意団体の立ち上げや運営に関する相談のほか、NPO法人の設立も含めたNPO・市民活動に関する基礎的な個別相談にも応じています。

すでに活動している方も、これから何か始めたい方も、個人、団体問わず相談可能です。まずは電話

●申込み／お電話かメールでお申込みください。メールの場合、件名を「災害VMC講座申込み」として、氏名・住所・電話番号をご記入ください。

●主催／世田谷ボランティア協会 世田谷区

●問合せ／せたがや災害ボランティアセンター

TEL 5712・5101

seiba@otagaisanet.jp

お電話は開館時間内にお願います。（火）金曜 10時～22時、土日20時まで。月曜・祝日休館

話でお問い合わせください。（相談無料。事前予約制）

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 宮崎

TEL 5712・5101
（月曜・祝日休館）

東 第3回せたがやヒューマンライブラリー開催

「ヒューマンライブラリー」とは、性的マイノリティ、薬物依存症回復途上者、高次脳機能障害、イスラム教徒、元引きこもり等の方々を「生きた本」に見立てて、少人数の一般読者を対象にした対話形式のお話会です。「本を傷つけない」という同意書提出が条件ですが、誰でも予約不要・無料で参加できます。直接会場へお越し

①「原爆写真展と資料展示」

●日時／8月8日（火）～9日（水）11時～16時（被爆者のお話は12時20分～13時）

●場所／世田谷区役所ピロティ

②「平和の広場のつどい」

●公園内の平和のモニュメントを巡るピースウォーク、

★ピースキャンドルを灯したミニコンサート

●問合せ／ピースアクション世田谷 2017実行委員会

TEL 3706・7204

●日時／8月26日（土）15時半～20時

●場所／問合せ／ケアセンター ぷらっと

TEL 5712・5105

TEL 5712・5105

TEL 5712・5105

TEL 5712・5105

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058

●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障がいにとまなう「困った!」を話せるところ●

- 世田谷地域障害者相談支援センター 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ!

◆センター&ビューローより

ナツボラ&ナツボラ・ジュニアがスタートしています。今年は例年に比べ参加者がとても多く、区内でたくさんの出会いが生まれています。「知ること」「接すること」からはじまります。

◆ふらっと&withより

猛暑日が続いた今年の梅雨。その梅雨も無事に明けて夏本番となる8月。外出の多いふらっとやwithでは、熱中症対策が必須です。暑さに負けず今年も夏を楽しみたいと思います。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます! 世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

◆チャイルドラインより

夏休みは子どもたちの気持ちがほっとする時期。夏休み明けの子どもの揺れる気持ちをうけとめる、9月1日からのキャンペーンにむけて準備をすすめています。みなさまのご支援よろしく願います。

編集後記

■九州北部豪雨をはじめ、全国各地で被害にあわれたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。「異常」な雨の降り方が「日常」になりつつあるような変化を感じます。一日も早く、平穏な生活を取り戻せますようお祈りいたします。

■先日、職場体験の中学生が3人やってきて、ふらっと、withでの体験、バザーの荷物整理のお手伝いなど、3日間体験していただきました。8月はインターンシップの大学生と10日間一緒に。若者がいると新鮮な空気を感じますね。

■好きだった思い出の花火大会がなくなってしまった…残念。久しぶりにまた行きたいと思っていたのにな。(み)

●発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03・5712・5101
FAX 03・3410・3811

●E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
●ホームページ
<http://www.otagaisama.or.jp/>
●発行人
興梠 寛